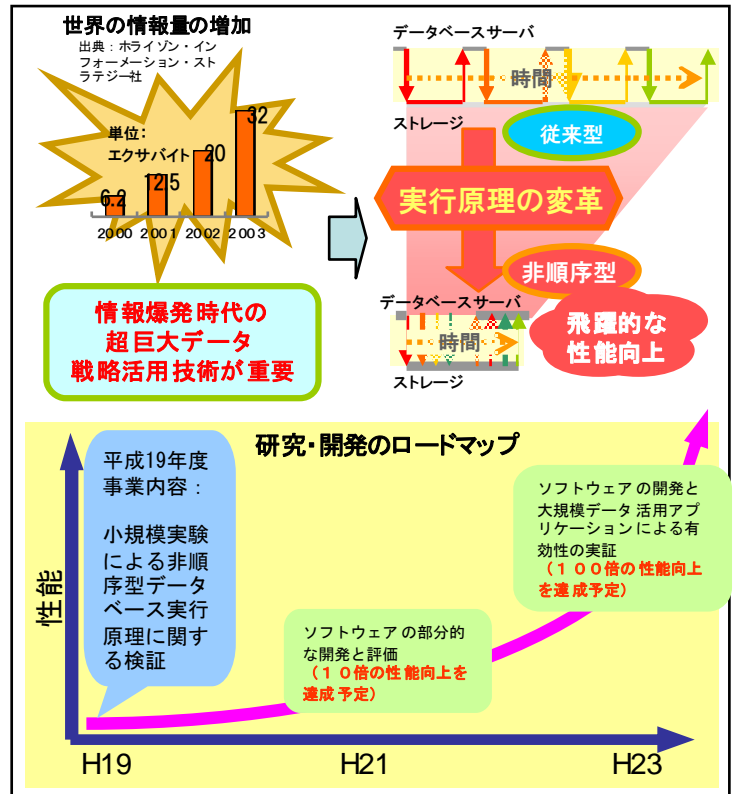


施策名： 革新的実行原理に基づく超高性能データベース基盤ソフトウェアの開発
【文部科学省】

連携施策群(情報の巨大集積化)施策

平成20年度対象予算： 120百万円
(平成19年度対象予算： 145百万円)
実施期間： 平成19～23年度
(予算総額： 1,350百万円)

- 情報爆発時代を迎え、既存データベース基盤技術の延長では限界が到来する。
○このため本事業では、大規模データベース管理システムの超高性能化技術の創出を目指し、革新的実行原理に基づく超高性能データベースの基盤となるソフトウェアを開発するため、
- (1)革新的実行原理である「非順序型データベース実行原理」の確立
 - (2)上記(1)に基づくデータベース基盤ソフトウェアの設計・実装
 - (3)実アプリケーションによる有効性の実証を実施する。



施策名： 情報大航海プロジェクト 【経済産業省】

連携施策群(情報の巨大集積化)施策

平成20年度対象予算： 4,108百万円
(平成19年度対象予算： 4,570百万円)
実施期間： 平成19～21年度
(予算総額： 15,000百万円)

- 多種多様な大量の情報の中から必要な情報を的確に検索・解析する技術(「次世代検索解析技術」)を開発した上で、汎用化してオープンに利用できるように共通基盤を構築する。
○技術の開発に当たっては、その技術を用いた実証事業を同時に行うことにより、技術の有用性・信頼性を検証するとともに、制度的課題を洗い出し、技術の市場展開に必要な環境整備を行う。



戦略重点科学技術(10)

世界一安全・安心な IT社会を実現する セキュリティ技術

戦略重点科学技術(10) 世界一安全・安心な IT社会を実現するセキュリティ技術

施策名： 情報漏えい対策技術の研究開発 【総務省】

平成20年度対象予算：1,100百万円
(平成19年度対象予算：1,000百万円)
実施期間：平成19～21年度
(予算総額：4,800百万円)

○近年、自動転送型ファイル共有ソフトを通じた情報流出や、組織における職員等による重要情報の持ち出し等が引き起こす情報漏えいの被害が社会問題として顕在化している。
○このため、情報の無断持ち出しや不正流用などに起因する情報漏えいを予防する技術、情報流出が発生した場合の被害を最小限に抑える技術を開発する。

